



# 攝津電機工業株式会社

## 2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



作成日: 2025年4月22日

## 目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業内容の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
環境活動の紹介	10



## □ごあいさつ

攝津電機工業株式会社は、電機設備分野で人と技術の調和をはかり、「お客様に価値ある製品を提供する」ことにより社会に貢献する会社です。社会の公器たる企業においては、社会的な存続価値がなければなりません。

我社は工場自動化システムによる生産性向上の領域と受変電設備・電気設備工事等の社会インフラ関連の領域にてこれからも社会に貢献してまいります。

また、社員一人一人が仕事を通じて自らの能力と人間性を向上させることにより、企業の持続的な発展が維持出来ると確信しております。

お客様に価値ある製品の提供とプロフェッショナルな社員の育成に全力で取り組むことにより、存在感のある企業としてお客様を初め関係会社様とともに成長し続けられるよう努めてまいります。

## 環境経営方針



### <環境経営理念>

当社は、「顧客に価値あるものを提供する」ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。

当社の事業活動である配電盤・制御盤の設計製作および電気工事業において、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、積極的に環境経営に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組むことを、当社の使命とする。

この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って環境改善活動を行う。

### <環境保全への行動指針>

1. 事業活動の全領域において経営目標に適合し、環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する。
2. 環境関連における法律、規制、規程および顧客要求を順守する。
3. 社員一人ひとりが自己啓発し、環境保全行動を実施する。
4. 環境改善目標を定め、環境負荷の低減を継続的に取り組み、活動結果を公表する。
  - ① CO2排出量削減
  - ② エネルギー使用量低減
  - ③ 廃棄物排出量削減
  - ④ 総排水量の削減
  - ⑤ グリーン購入の推進
  - ⑥ 製品・サービスへの環境配慮
  - ⑦ コピー紙の削減
  - ⑧ 化学物質の適正管理

制定日：2016年4月1日

改定日：2018年7月2日

代表取締役社長 賀内 一彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

攝津電機工業株式会社  
代表取締役社長 賀内 一彦

(2) 所在地

本 社 大阪府箕面市稲6丁目2番1号  
大阪支店 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目5番16号  
神戸支店 兵庫県神戸市中央区八幡通3丁目2番5号  
川西工場 兵庫県川西市石道久保ノ上166番地  
阿南事業所 徳島県阿南市那賀川町大京原164-1  
徳島工場 徳島県徳島市春日2-5-10

※2025年3月1日に有限会社エースプランナーを吸収合併し、阿南事業所と徳島工場の2事業者を追加

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部長 金子 将人 TEL：072-729-2341  
担当者 総務部 宇賀 正樹 TEL：072-727-7151

(4) 事業内容

配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

(5) 事業の規模

売上高 18億8千万円

	本 社	大阪支店	神戸支店	川西工場	合 計	阿南事業所	徳島工場
従業員 名	42名	5名	1名	8名	56名	18名	4名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	2165.72 m <sup>2</sup>	66 m <sup>2</sup>	44.21 m <sup>2</sup>	445 m <sup>2</sup>	2721 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>

※売上高には2025年3月1日に吸収合併した有限会社エースプランナーを除く

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 攝津電機工業株式会社  
対象事業所： 本 社

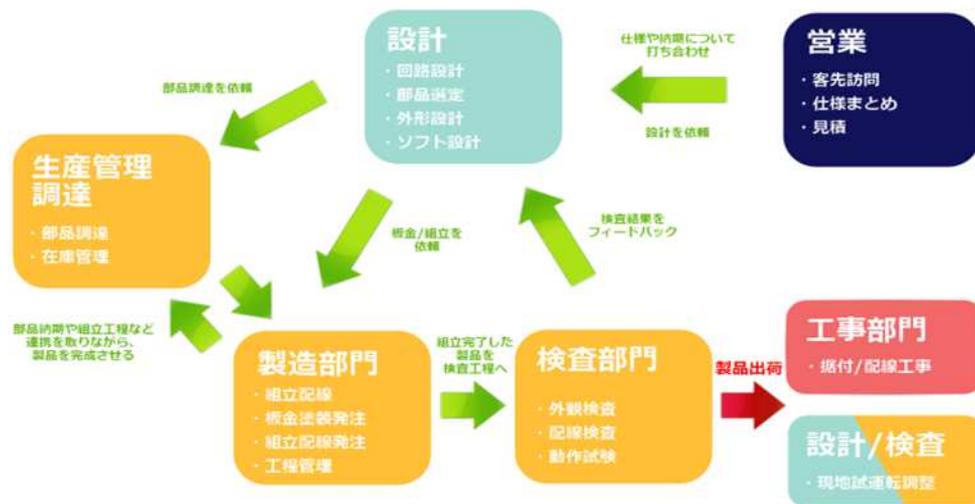
大阪支店  
神戸支店  
川西工場

対 象 外： 阿南事業所、徳島工場（2027年に拡大予定）

活 動： 配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

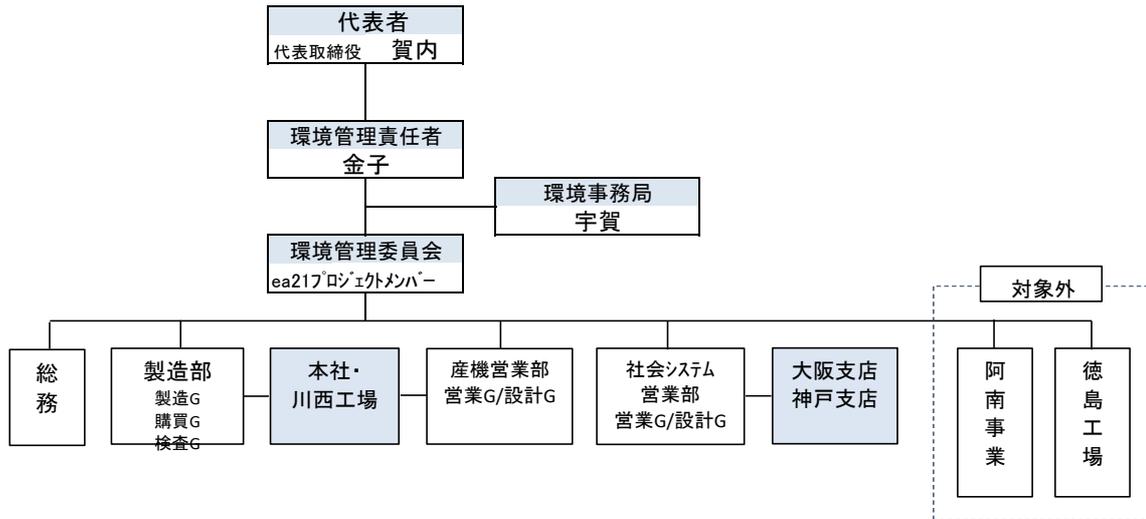
□事業内容の紹介

電気設備、計装設備、受配電盤・制御盤の設計製作等、あらゆる電気設備に関わることに対応できるよう、優秀なスタッフを置き、業務に励んでおります。  
省力化や効率化のサポート役として、先進の技術で工場の生産設備、各種のプラントへ、制御の技術を軸にお客様のニーズに従って、ソフト及びハードの設計から製作まで一貫して行います。  
ライフラインに密着した上下水道、道路、河川、ダム設備などのインフラを、信頼される技術で制御盤の設計製造から据え付け電気工事までトータルサポートで、製品、技術を提供させていただいております。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年3月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績



項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	118,695	115,662	130,043
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,053	3,674	2,262
産業廃棄物排出量	kg	5,269	5,670	5,457
水使用量	m <sup>3</sup>	462	521	401

※二酸化炭素排出係数 0.401 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 2023年度の電力会社の調整排出係数  
 ※2024年度より二酸化炭素排出係数を0.351→0.401kg-CO<sub>2</sub>/kWhに変更  
 ※二酸化炭素総排出量には、灯油による排出量を含む

## □環境経営目標及びその実績



項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	46,439	44,581	58,718	×	44,349	44,117
	基準年度比	2020年	96.0%	126.4%		95.5%	95.0%
原単位(売上高による)	kWh/千円	0.075	0.072	0.078	×	0.072	0.071
	基準年度比	2020年	97.0%	104.3%		96.5%	96.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	66,943	64,935	69,825	×	64,600	64,266
基準年度比	2020年	97.0%	104.3%		96.5%	96.0%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	113,382	109,516	128,542	×	108,949	108,383
一般廃棄物の削減	kg	3,254	3,156	2,262	○	3,140	3,123
	基準年度比	2020年	97.0%	69.5%		96.5%	96.0%
産業廃棄物の削減	kg	9,100	8,827	5,425	○	8,782	8,736
	基準年度比	2020年	97.0%	59.6%		96.5%	96.0%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	482	468	401	○	465	463
	基準年度比	2020年	97.0%	83.2%		96.5%	96.0%
グリーン購入の推進	行動目標(次ページ以降による)						
化学物質の適正管理	行動目標(次ページ以降による)						
コピー用紙の削減	枚	452,500	425,350	302,000	○	423,088	420,825
	基準年度比	2020年	94.0%	66.7%		93.5%	93.0%
製品・サービスへの環境配慮	件	107	128	120	×	134	139
	基準年度比	2020年	120.0%	112.1%		125.0%	130.0%

※産業廃棄物は埋立処分量のみを対象としています

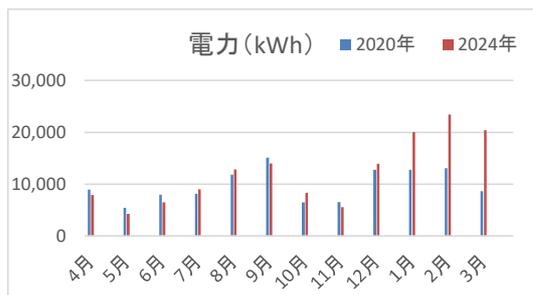
□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



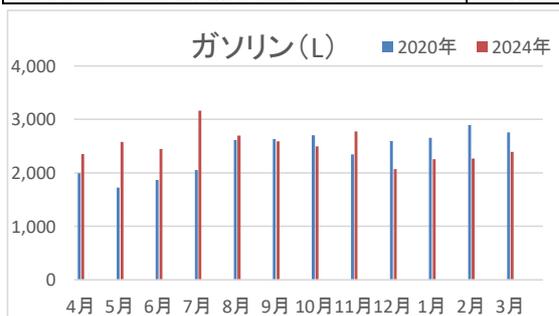
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	第4半期に本社工場棟が稼働。空調機の能力、台数が増えたことにより目標値に大きく及ばない結果となった。本年度は、より目標値が非現実的になることが想定される。新たに稼働した徳島県内の事業所、工場の拡大スケジュールと合わせて基準年を見直す。
・空調温度の適正化 (WBGT値から調整)	○	
・不要照明の消灯	○	



建替にともない電気制御システムを導入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	8,963	5,431	7,955	8,160	11,877	15,130	6,497	6,547	12,800	12,800	13,106	8,666
2024年	7,898	4,317	6,491	9,021	12,847	14,010	8,380	5,587	13,975	20,028	23,460	20,414

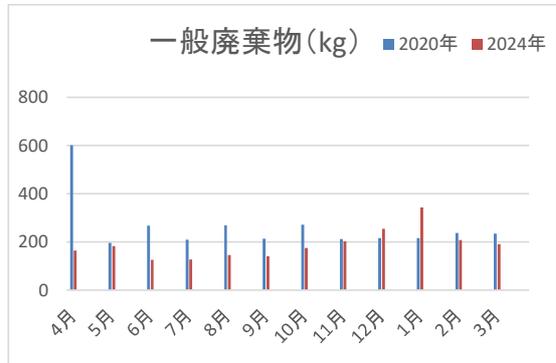
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	下半期では単月単位で二酸化炭素の削減の目標をクリアできたが、上半期の建替え工事に伴う本社と工場の行き来、大型物件の完了に向けての移動を吸収できない結果となった。次年度の目標達成のため、エコドライブの理解を深める施策を引き続き実施する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートでの運搬	○	
・エコドライブの教育計画	○	
・車両更新時に低燃費車を選択	○	



電気自動車の試乗の様子

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	1,992	1,723	1,867	2,054	2,615	2,632	2,704	2,347	2,597	2,656	2,891	2,757
2024年	2,349	2,575	2,444	3,160	2,699	2,590	2,497	2,775	2,072	2,256	2,266	2,391

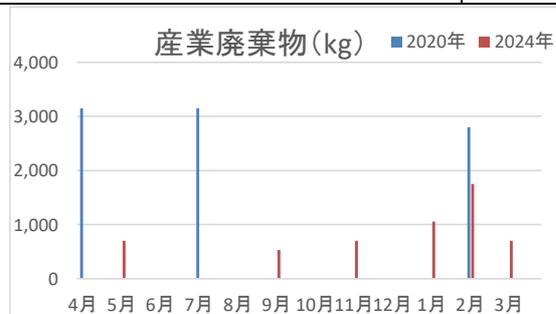
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	厳しい目標を達成できた。ゴミの分別の意識付けができており、印刷物の減少にともないシュレツダー紙の量も減ったためと考えられる。 次年度も目標を達成するため引き続き取り組む。
・分別の徹底	○	
・シュレツダー廃紙のリサイクル化	△	
・検図方法見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



仕分けを徹底し、計量時には個数まで記録

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	602	196	267	209	269	213	271	212	216	216	237	235
2024年	164	183	127	127	146	141	175	203	254	344	208	190

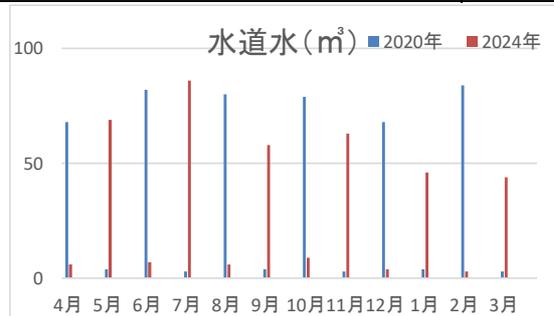
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	第4四半期には本社工場棟の稼働があるため増加が予想されていたが、有価物との仕分けの強化により目標を達成できた。次年度もこの調子で目標を達成したい。
・分別の徹底	○	
・梱包材の再利用（木材）	○	
・現場事務所備品のレンタル品検討	○	



産業廃棄物と有価物の仕分け

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	3,150	0	0	3,150	0	0	0	0	0	0	2,800	0
2024年	0	700	0	0	0	525	0	700	0	1,050	1,750	700

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	節水の呼びかけを実施し続けた結果、累計で目標を達成できている 次年度も目標達成のため引き続き呼びかけを実施していく
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・定期的な上下水道使用量の確認	○	



節水よびかけポスター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	68	4	82	3	80	4	79	3	68	4	84	3
2024年	6	69	7	86	6	58	9	63	4	46	3	44

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	備品の購入の際にはグリーン製品を意識できるようになっている
・エコタイヤ（交換用）の確認	○	
・工事材料（エコケーブル）の使用推進	○	
・事務用品グリーン製品導入	○	

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	本年度より管理が必要な化学物質を含む製品を保管。保管量が少ないことから購入ベースでの管理とし、実施もできている。従業員教育に関しては次年度以降、安全衛生協議会の取り組みに協力していく。
・リスクアセスメントの実施	△	
・有害物質の表示の徹底	○	
・従業員教育	×	

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・プリンター用紙の購入数を把握する	○	書類管理ソフトの浸透が進み、申請書類や製造工程の書類等のDXがより進んだことで管理することで目標を達成できた。次年度は、データ化の更なる拡大、ミスプリントをなくすことで、より削減できるようにする。

製品・サービスへの環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・省エネ機器の採用	○	客先の理解を得ることで、エコ電線の使用を推進できたが、目標まであと一歩届かなかった。 次年度はより目標を意識し、取り組みを継続する。
・再生資源の利用	○	
・省資源設計の提案（既成BOXの利用等）	○	
・省エネ設計の提案（Ex. INV等）	○	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス等）、一般廃棄物
騒音規制法（大阪府条例）	業務用空調機
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要望等**

本年度において苦情等の実績はありませんでした。

**□事故等緊急事態対応の試行・訓練**

緊急事態の想定： 火災発生とAED使用訓練	
■実施日： 2025/3/25	■実施場所： 箕面本社
■対象者： 箕面本社勤務従業員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 消火講習 <input checked="" type="checkbox"/> AED使用訓練 箕面市消防本部より講師を招き、上記実施内容の講習、訓練を実施	
■評価： 良 火災訓練では、警報から避難完了までの時間は2分14秒。過去実績よりも短縮できていました。事務所棟と工場棟で警報音は共有されていないため呼びかけが必要、警報音と通報はリンクしていないため火災の際には躊躇なく通報するよう指示があり、また、本年度は消火器の使用方のレクチャー後、水消火器を用いてピン・ボン・パン（ピンと栓を抜き、ボンと狙う、パンで放つ）の音にあわせての実地訓練を体験できたことでより印象付ができました。他に消火器の使用上の説明では、退路を確保してからの使用、火元を狙ってほうきを掃くように発射、大人の目線以上の火の手が上がっている場合は避難を優先するよう指示がありました。 AEDを用いての心肺蘇生の実地訓練では、参加者が訓練用マネキンを用いての訓練ができました。通報から箕面本社に到着まで6分ほど要するため、救助隊の到着、または意識が戻るまで、絶え間なく胸骨圧迫、躊躇なくAEDを使用するよう教示を受けました。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年4月22日

2024年度は、2025年1月に本社工場建て替えが完了し本格稼働したため、作業環境改善に向けた空調設備の拡充により1～3月の電力量が急増した。これは継続するため基準の見直しが必要である。ガソリン消費量は遠方での大型物件の完了に伴い減少している。また、DXの社内活用により紙の使用量は大きく削減できた。これらの課題と効果を検証し次年度の計画作成を実施してください。

2025年度は、廃棄物の分別と電力使用量削減に向けて定期的なパトロールと省エネの啓蒙活動を実施してください。BCP検討委員会・DX検討委員会と連携を図り、全社的視点での環境経営を実践することにより、地域社会に貢献できる企業を目指します。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
実施体制他	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	2025.4.1より環境管理事務局変更 環境事務局：総務部 関勇樹

□環境活動の紹介



**SDGsの取組**

■設置日：2024/11/15	■設置場所：箕面本社
■推進者：エコアクション21推進委員会メンバー 7名	
■実施内容：コンタクトレンズの空ケース回収、ペットボトルキャップの回収 コンタクトレンズを使用する際に出る空ケースを回収し、またペットボトルドリンクを利用した際に出るキャップを回収しリサイクルに繋げます。	
■評価：良 従業員の協力を得て実施することができました。ゴミとして燃やさないことでCO2の削減に貢献し、再製品化することで限りある資源を大切に使い、またコンタクトレンズの空ケースリサイクルの際に発生する業務では障がいがある方に携わっていただくことで、自立・就労支援に繋がっています。想定以上に回収することができSDGsの取り組みを推進できました。	
■実施状況の様子	
<p><b>コンタクト空ケース回収</b></p> 	<p><b>ペットボトルキャップ回収</b></p> 

□攝津電機工業株式会社は、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、EA21の活動を通じ社会の課題解決に取り組んでいます。

**SDGsとは**  
SDGs(エスディーゼーズ:Sustainable Development Goals持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

